

Road to Doctor

医学生の夏と言えば医ゼミ!

全国の仲間と医療者像を深める



全国の医療系学生で作る学びの場

筆者の小池さん

初めまして♪
弘前医ゼミに参加する会(通称ヒスク。いわばサークル。部活よりゆるい。)の代表で医学科4年の小池紗季です。みなさんに「医ゼミ」について知ってもらいたく、筆を執らせていただきました。医ゼミとは、「全国医学生ゼミナール」の略称です。これは全国各地の医療系学生が医療者として大切な倫理面のこと、社会問題などを自主的に学んで発表したり、お互いに交流して高め合っていく全国で一番大きな医療系自主ゼミイベントです。自主ゼミとは、自主的に調べ考え発表し、意見交換しあうものです。話を聞くだけの受身ではなく、自ら主体的に取り組むのが特徴です。医ゼミは毎年夏に行われ、今年で第58回を迎え、とても歴史の深いイベントです。今年の医ゼミは、8/15~18日の4日間、千葉大学で開催しました。「一人ひとりの学びで咲かせよう医療の未来」をテーマに掲げ、全国の有志の医療系学生が集い、準備・企画・運営などすべてを行いました。今年は延べ1400人近くが参加し、大盛況でした!

著名な講師の講演や学生が作る分科会

①学生によるレポート...

扱った内容は2025年問題です。4人に1人が高齢者になると言われています。それに伴い、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、供給とのバランスが崩れてしまうのではないかと懸念されています。

②戦後70周年企画...

戦争体験者から話を聴き、戦争の怖さを知りました。戦後70年の今、医療者をめざすことについて考えました。

③原澤慶太郎先生によるご講演...

福島県相馬市で診療している原澤先生から地域医療について話を聞きました。医ゼミでは時代の先端をいく著名な先生の引き込まれる話が聞けます。

④分科会...

医ゼミの花形です。学生個人々の興味のある分野について調べ・学んだことを発表し、みんなと共有する場です。「Presentation workshop」「子どもの貧困と教育」「漢方について」「薬剤師のおもしろさ」などテーマは様々ありました。

⑤交流会...

大学、学科、学年の垣根を越えておしゃべりする場。人脈を広げられ、尊敬できる人と出会える場です。

医ゼミの風景



医学部に入ったら、ぜひ医ゼミへ

私はこの医ゼミに準備の段階から関わり、紹介した内容の他に、たくさんの学生と協力してイベントを作り上げることを経験しました。その過程においてここでは伝えきれない楽しさ、リーダーとして・先輩として・後輩としての姿勢、協力していく上で必要な思いやりなどたくさんのことを得ることが出来ました。とにかく楽しかったです!

今、医学部を目指して必死で勉強しているみなさんといつか一緒に医ゼミに行きたいと考えています。今はちょうど秋に入りかけています。いよいよこれから受験勉強が大詰めですね。

応援しています(*^_^*)

朝晩が寒くなり秋を感じさせる今、みなさんはいかがお過ごしでしょうか?くれぐれも体調には気をつけましょう。さて、今月のRoad to Doctorは8月15日~18日に行われた「全国医学生ゼミナール」について、弘前大学医学科の学生が報告してくれます。全国の医療系学生が自主的・主体的に作り上げ、学び、交流するこの企画にみなさんも医学部に入学した際は積極的に参加してみましょう!もう一つは弘前大学医学科の1年生から医学科を受験した当時の面接の様子や、コツなどを紹介してくれます。今年、医学部医学科を受験する高校生の方の参考になればと思います。



先輩! 面接経験教えて

①笑顔で声を大きくはっきり答える

面接官は穏やかな方でしたが、私は勿論緊張してカチコチしていました。私の場合、予想していなかった質問が多かったので、今まで練習してきたことを話すというより、自分の気持ちを素直に伝えました。そして、当たり前ですが笑顔で声を大きくはっきりとして正しい受け答えをするのを意識しました。質問の返答を考えて、ある程度覚えるのも必要ですが、伝えたいことや自分の気持ちを整理してみるのも大切だと思います。

みなさん、自信を持って頑張ってください。

(八戸市内の高校出身)

②暗証大会にせず、面白いことを話して合格

私は試験当日、会場についたのが遅く、あと30秒くらいで遅刻でした(´_`;) 時間ぎりぎりでもちゃんと着いたのは運が良かったです。

面接は3人の面接官と30分くらい話しました。面接官はその人の人柄によって質問が違いました。質問では青森県の医療の現状や、他愛もない話もありました。緊張しながらも、あごは引いて、手は左手を上に乗けることに注意していました。

面接で意識したのは、用意していた答えを気にしないで答えることでした。他の学生との暗証大会にしたくなかったからです。答えを用意していると思いたくないので、それなら思いつきで答えたほうが良いと思って、開き直っていました。

あと面接官の立場になって考えてみて何十人も面接者を見ていて、みんなと同じことを言うよりも、他の人より面白いことを言った方が勝ちだと思っていました。

(弘前市内の高校出身)

☆医学科の学生が語る面接体験談☆



③面接官に「こいつを育てたい」と思わせる!

私は集団面接でした。その時は意識したのは面接は尋問だと思わないで「自分を売り込むチャンス」だと考えることでした。そう思うとあまり緊張しませんでした。面接官から高校時代のことについて質問され、空手をやっていたことを話すことで再度そのことについて細かく質問されました。面接官の方から自分の話に食いついてくるような応答をすると勝ちだと思います。また、集団面接ではみんな一緒に見えてしまわないように話す工夫や、簡潔に質問のポイントだけを話すことが大事だと思います。

面接のテクニックとして、面接官の質問に対して「その質問はこういう意味ですか?」と要約して逆に聞き返し、その間に自分の意見をまとめるのというものもあります。面接官はみんな医学部のDrなので「こいつを育てたい」と思わせるような気分させることも大事だと思います。

(八戸市内の高校出身)

road to doctor
8月号の感想

これを読むと初心に帰ることが出来ます。その時の自分の生活を反省させられます。(PN はい)

私も1年生の時に民医連の医師体験に参加していたので、懐かしく感じました。医師を目指す高校生がたくさんいるんだと思いました。

(PN だいふく)

自分が経験していない医師体験が掲載されていて、機会があればまた参加したいと思いました。

(PN MJ)

Road To Doctorは医学部医学科をめざす皆さんの機関紙です。

今後も読者の皆さんの感想お待ちしております。

青森民医連奨学金制度

青森民医連には「医学生奨学金制度」と「高卒生奨学金制度」の2つの奨学金制度があります。

●医学生奨学金制度(右表上)は、日本全国の医学部(医学科)に在籍する医学生が対象です。返還義務がありますが、卒業後一定期間、青森民医連加盟の医療機関に勤務してもらうことで返還が免除されます。

●高卒生奨学金制度(右表下)は、高校卒業後、医学部(医学科)への合格に向けて勉強している30歳までの方が対象です。貸与期間は3年まで。返還義務がありますが、医学部(医学科)合格後、医学生奨学金制度に移行し、青森民医連加盟の医療機関に勤務すると返還が免除されます。

どちらも時期・学年を問わず随時募集しています。詳細は、下記連絡先まで気軽にお問い合わせください。

◆医学生奨学金制度

	特別奨学金	一般奨学金
入学金貸与	あり(1年次のみ)	なし
奨学金貸与額	20万円以内/月	10万円以内/月
定員	各学年5名	なし
返還免除の条件	卒業時に返還義務が生じますが青森民医連に勤務すると返還が免除されます	
	貸与期間の1.5倍	貸与期間の1.0倍

◆高卒生奨学金制度

	コース①	コース②
貸与額	10万円/月	20万円/月

